

「平成30年医薬品配置販売業及び配置従事者数全国集計」 その傾向と対策

発行：日本置き薬協会 事務局

ここ4年、本紙7月号は全国の配置業者数、同従事者数の推移を採り上げている。これは毎年6月の富山県厚生部くすり政策課の発表を受けているため。毎年、その発表数値が減少、縮小傾向にあるので、3年前のタイトルは、政界用語の「上り坂、下り坂、まさか」をなぞり「まさかを願う、下り坂」と自虐的に捉えてみた。2年前は、「底は有るのか？どこで止まるのか？」と悲観的に表しし、昨年は客観的に「上り坂、下り坂、緩やかに下り坂」とした。今年は一か月繰り下げ、業界団体の全配協の各ブロックで纏められた提案と要望を添え、集計の「傾向と対策」とした。

下記表は、直近の平成30年を含めここ6年間の経過。都道府県が各年の12月31日現在で許可（業者数）或いは交付（従事者数）した数値である。

配置販売業者			配置従事者数				
年	既存配置①	新配置②	総計①+②	年	既存配置③	新配置④	総計③+④
25	6,866	1,423	8,289	25	12,999	6,338	19,337
26	6,469	1,560	8,029(▲260)	26	12,036	7,619	19,655(318)
27	5,992	1,764	7,756(▲273)	27	10,725	6,896	17,621(▲2,034)
28	5,314	1,892	7,206(▲550)	28	9,084	6,844	15,928(▲1,693)
29	4,775	2,207	6,982(▲224)	29	7,986	6,511	14,497(▲1,431)
30	4,083	2,257	6,640(▲342)	30	6,386	7,986	13,723(▲ 814)

既存配置販売業者			新配置販売業者				
年	法人⑤	個人⑥	総計⑤+⑥=①	年	法人⑦	個人⑧	総計⑦+⑧=②
25	2,048	4,818	6,866	25	497	926	1,423
26	1,924	4,527	6,469(▲399)	26	547	1,013	1,560(137)
27	1,838	4,154	5,992(▲477)	27	634	1,130	1,764(204)
28	1,655	3,659	5,314(▲678)	28	682	1,210	1,892(128)
29	1,553	3,222	4,775(▲539)	29	857	1,350	2,207(315)
30	1,336	2,747	4,083(▲692)	30	1,041	1,516	2,557(350)⑨

注目したいのは、⑨の新配置販売業者数の大幅増で、これは30年3月までの経過処置が無くなるに併せ、既存より新配置に移行された業者が多かったためだろう。登録販売者試験に合格された既存業者がそれまでの従事経験期間をもって区域管理者になれたのが、これ以後は出来なくなり既存業者の許可で業務を行うことになるため。

配置従事者数がそれ以前よりも減少カーブが緩やかになった。従事者の高齢化に伴う廃業や離職、少子社会での就職者数減少の従事者確保難等々で、厳しい状況は変わらないが、30年は下げ止まった感がある。

本件に関するお問合せ先 **日本置き薬協会 事務局**

〒332-0034 埼玉県川口市並木 2-30-6 内外救急薬品内
Tel 080-5514-7511 (有馬) fax 048-251-9657

日 置 協